

# 令和2年度

## 事業報告

あすなろ児童クラブ  
第二あすなろ児童クラブ

### 1. 運営・経営・組織の強化

- (1) 本園と連携を取り、課題解決に取り組む
  - ・施設長出席のもと、定時職員会議の実施と、必要に応じて随時リーダー、副リーダー会議を実施し、課題解決に速やかに取り組んだ。
- (2) 見附市の委託事業であることをふまえ、見附市教育委員会こども課、及び、市内の児童クラブと連携を図る。
  - ・連携については、特にコロナ対策において、感染予防に関する必要品の購入や、消毒等に関して指導があった。他の児童クラブとの懇談会の実施はなかった。

### 2. 放課後児童支援員・補助員の専門性と資質の向上

- (1) 子どもが自主的、創造的に活動できるように支援する。
  - ・放課後児童健全育成事業の事業目的に則り、できる限り子どもが主体的に創造的に活動できるよう支援に努めた。
- (2) 支援員認定資格研修への参加、及び、内部研修を実施し、個々の職員の資質の向上を図る。
  - ・支援員認定資格研修を受講する予定の職員が、年度途中の退職により今年度は資格取得者がなかった。
  - ・内部研修については本園と合同で、見附警察署生活安全課署員の指導を受け、不審者対応の訓練を実施した。同日、救急法、ケガの手当について学習した。
- (3) 子どもの問題行動を共有し、臨床心理士との連携を図り、課題の改善に努める。
  - ・臨床心理士との連携は密には実施できなかったが、リーダーを中心に、日々のミーティング、日誌への記載等、連携をスムーズに行い、問題行動の改善は速やかに実施できた。

### 3. 子どもの命の尊重と、事故防止の徹底

- (1) 「子どもの命」を守ることを第一優先とし、事故防止に努める。
  - ・各担当箇所職員を配置し、事故防止に努めた。大きな負傷はなかったが、軽傷6件発生した。
- (2) 災害時対応マニュアルにより、計画的に訓練を実施する。
  - ・危機管理マニュアルに基づき、事故への対応、火災の避難訓練を実施した。
- (3) 一年時の下校指導の実施と、交通安全指導に努める。
  - ・下校指導は職員を3人配置し、交通安全に気配りをして下校指導に努めた。
- (4) AEDの操作方法を含めた救急法研修の実施と、地域社会の要請に協力する。
  - ・AEDの使い方の講習は本園と合同で、園内の有資格者により一人一人訓練を実施

した。

- ・ A E D の要請は地域社会からはなかった。

(5) 事故防止マニュアル、感染症、衛生マニュアルを活用し、内部研修を実施する。

- ・ 養護教諭がマニュアルを作成したが、内部研修は深めることができなかったため次年度へ繰り越しとする。

#### 4. 子どもの権利擁護

(1) 人権チェックリストの実施、不適切な関わりを防止する。

- ・ 全職員が権利擁護チェックリストを記入し、園長面談を行い、人権意識の向上に努めた。

(2) 子ども集団の状況、力関係を観察し、暴言、暴力によらない関係性の構築を図る。

- ・ 日々の指導において、常に子どもの行動に注視し、不適切な言葉、行動に対して振り返りを促し、居心地の良いクラブとなるよう努めたが、第二クラブで、女兒2名のトラブルにより、双方の保護者からの苦情対応に苦慮した。女兒1名が第二クラブから第一クラブへ異動することで解決した。

#### 5. 施設・環境整備

(1) 子どもが安全・安心に過ごせるよう、施設全体の環境を把握し整備に努める。

- ・ 第一クラブ、第二クラブとも環境整備業務管理分担表を作成し、役割分担をし、快適な環境整備に努めた。

(2) 学習活動及び発達課題にふさわしい遊びの提供に努める。

- ・ 学校の宿題等、習慣化し取り組んでいた。教具、教材、器具については年齢に応じた物を購入し対応した。